

インドネシア情報レポート

(2024年12月31日)

(公財) 大阪産業局 インドネシアビジネスサポートデスク

PT. JAC Consulting Indonesia

2024年12月28日にジャカルタ特別州にあるグロラ・ブンカルノ競技場（インドネシア最大規模の競技場）にてクリスマス集会が開催されました。この集会にプラボウォ大統領が出席し、キリスト教徒に対し祝意を表しました。大統領はこの集会の中で国是であるパンチャシラの一説「多様性の中の統一」をテーマに、すべての国民は信仰する宗教が異なっても平和に暮らし、共通の目標や理想を追求していく努力が必要と話しました。この集会はオンラインでも配信され、少なくとも1万千人以上は参加したと公表されています。

さて、今月は12月から発表が始まったインドネシアの各地域の最低賃金についてご紹介します。暫定的なデータとなりますので今後、州政府或いは地方局に基づき改定がなされる可能性があります。また、これらの賃金上昇率は大統領、政府関係者及び専門家によって協議され確定されます。

地域名	新最低賃金（月額）	賃金上昇率
ジャカルタ特別州	Rp 5,396,761	6.5%
ブカシ市	Rp 5,690,725	6.5%
ブカシ県	Rp 5,558,515.10	6.5%
カラワン市	Rp 5,599,593.21	6.5%
カラワン県	Rp 5,599,593.21	6.5%
バンドン市	Rp 4,482,914.09	6.5%
バンドン県	Rp 3,757,284.86	6.5%
ジョグジャカルタ市	Rp 2,655,041.81	6.5%
スラバヤ	Rp4,961,753	6.5%
ヌサンタラ（新首都移転先）	Rp 3,957,345.89	6.5%
バタム島	Rp 4,685,050	6.5%

(注) Rp10,000≒97円

11月に大統領が予告していた通り、本年度の最低賃金引き上げは6.5%となりました。日系2輪4輪工場の多いブカシ・カラワンは引き続きインドネシアで最も高い賃金地域となりました。多くのインドネシアにある日系企業が従業員の賃金調整を進めています。